

プラネタリウム

春番組

「曲線で描く春の星座」

〈内容〉

春のやわらかい光を感じられる星座観察は、北の空高くに昇った北斗七星から始めましょう。北斗七星は、北極星のほかにも、春の星を探す目印になります。

北斗七星のひしゃくの柄の部分から緩やかな曲線を延ばしていくと、うしかい座のアルクトゥールスやおとめ座のスピカ、そしてからす座を見つけることができます。（春の大曲線）

また、春の注目はかに座のプレセペ星団です。ししの大鎌とふたご座の間に、光害の少ない空なら、肉眼でも美しいプレセペ星団がみられます。

それでは、プラネタリウムで春の曲線をえがいて星座を見つけてみましょう。

星座のお話もあります。

〈投影日時〉

曜日	投影開始時間		
土・日	午前11時00分	午後1時30分	午後4時00分

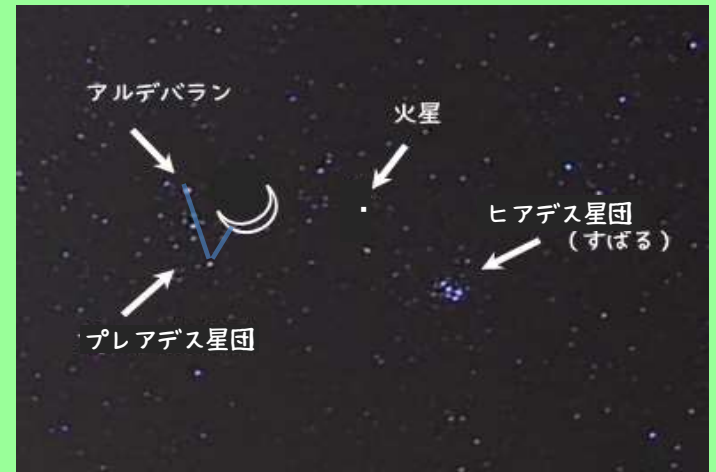
天体ニュース



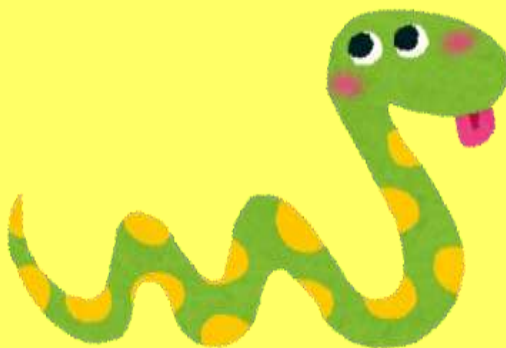
仲良く並ぶ 細い月と火星と星団

おうし座の顔の部分にあたる、V字型に並ぶプレアデス星団、『すばる』でおなじみのヒアデス星団、4月9日はこの星団の間を細い月が通ります。

すぐそばに火星も現れていて、おうし座の目の部分の星、アルデバランと競うように赤く輝いているのが見えます。



今月の星座紹介【うみへび座】



「うみへび座」は、紀元前3200年頃には既に知られていたと言われている古い星座です。うみへび座の目印は、しし座のレグルスの右下(西南)に位置している、いくつかの星があつまって「く」の字のように見える星の集まりです。この部分が、うみへびの頭にあたり、ここから、からす座、しし座、おとめ座の下を通って星が続いています。うみへび座は、全天88星座の中で一番大きい星座です。